

OpenShift 4 Foundations 説明資料

How to Sell

Red Hat OpenShift Container Platform

エンタープライズコンテナ基盤の 目的は？

エンタープライズコンテナ基盤の利用目的

- ▶ ハイブリッドクラウドの実現
- ▶ クラウドネイティブ開発 などなど

イノベーションへの
フォーカス

Time to Value
の
加速化

システムの
柔軟性
(インフラ選択の自由、ISVエコシステム)

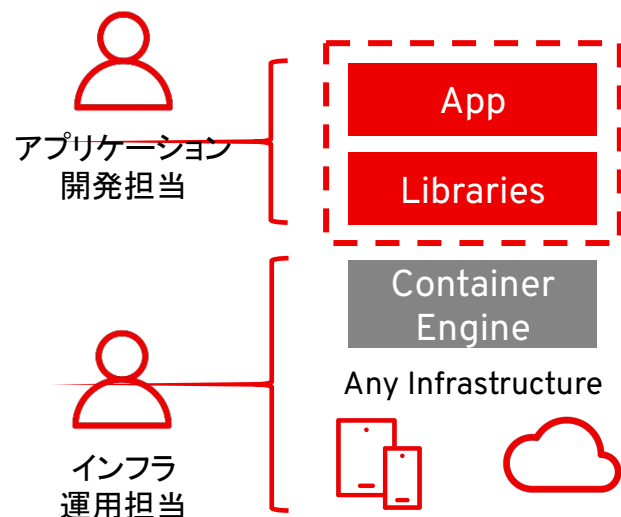
OpenShiftの潜在的なユースケースとは？

- ▶ JBoss のデプロイをしている → EAP
- ▶ 幅広いプログラミング言語のサポート
→ Runtimes
- ▶ モノリシック/基幹システムの移行
→ コンサルティングサービス
- ▶ ISVエコシステム の利用
などなど

エンタープライズコンテナ基盤の 利用ユーザは？ Why Use？

利用ユーザは？

▶ IT運用担当者 と 開発担当者



開発スピードの向上

- ・頻繁なリリース更新
- ・テストの自動化
- ・自由な開発環境



システムの安定性

- ・サービス指標の提供
- ・Immutableな運用環境
- ・アプリ特性に依存しない基盤

エンタープライズコンテナ基盤を使う理由？

- ▶ 全ての技術を揃えないといけない
 - ・ OS (サポート)
 - ・ Container Registry
 - ・ RBAC
 - ・ ネットワークの選択
 - ・ セキュリティ
- ▶ 開発を支援する機能、Managed K8sでは部品の部分調達(サポート)が必要
- ▶ 障害時の切り分け責務

→ 1から全てを揃えようとするのは、
スピードを意識した開発と相反(ペイン)

アプリケーションデリバリの 自動化/効率化に向けたオプション

CI/CDツール

- ▶ 継続的インテグレーション、
継続的デリバリ・デプロイメントの実現
 - ▶ DevOps 環境の構築
 - ・開発効率の向上
 - ・脆弱性確認のルーティン化
 - ・開発リードタイムの短縮など
-
- ▶ Red Hat製品：
Red Hat OpenShift Pipelines
Red Hat OpenShift GitOps

インフラCI

- ▶ アプリのデプロイ、インフラのIaC化の実現
 - ▶ インフラ部分のコード化によって開発者主体でインフラ操作が可能にする
-
- ▶ Red Hat製品：
Ansible Tower(ansible controller)

API マネジメント

- ▶ APIの設計から実装、そして管理まで円滑化を実現
 - ▶ APIライフサイクルを管理
 - ・API仕様の公開
 - ・API接続への認証・認可
 - ・API利用者のユーザ管理
 - ・プランに応じた流量制御など
-
- ▶ Red Hat製品：
3scale API Management

レッドハットが進める 人・技術・プロセスの変革

Container Adoption Journey (CAJ)

- ▶ コンテナ導入によるビジネス価値の実現をするプログラム
- ▶ 見過ごされがちなプロセスにメスを入れる
 - ・ コンテナ導入による実行計画
→プロジェクト実行と確認 → 計画...
を繰り返し、価値の実現につなげる

顧客が運用プロセスを自立して
築けることを支援

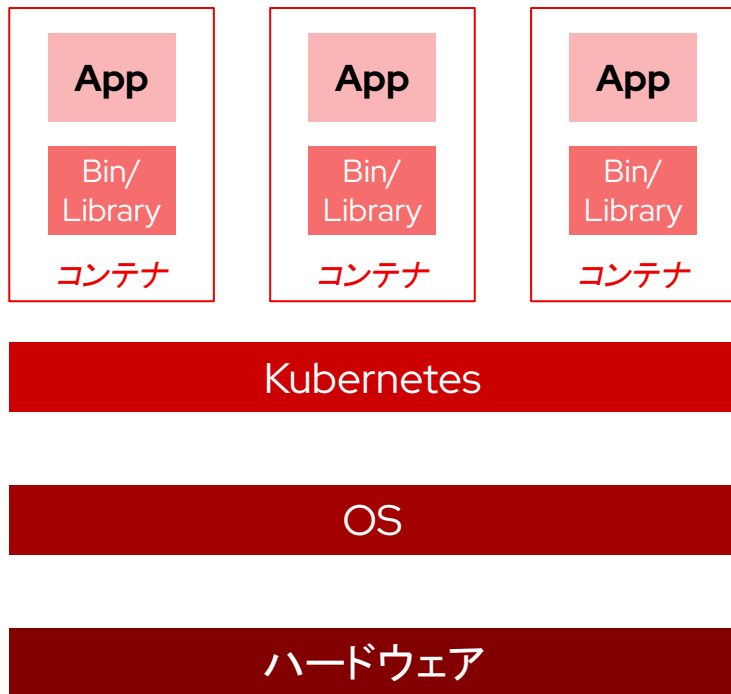
Open Innovation Labs (Labs)

- ▶ 仮説検証ビジネス実現のためのプログラム
 - ・ 戦略の探求、製品設計、デリバリの迅速性、組織の迅速性、モダナイゼーション
- ▶ ビジネス部門、経営層を巻き込み、IT部門をドライバとして全社的なDXを実現するというアプローチ

顧客価値を生み出せるかの判断
を行う最小限の構成から始める

Why Red Hat ?

Red Hatなら抜け漏れの無いトータルサポートが可能



Universal Base Image(UBI)※1

Red Hatのコンテナ実行環境を利用する場合、UBIの使用をサポート

OpenShift

KubernetesもOpenShiftによりサポート

RHEL/RHCOS

コンテナのホストとしての稼働をサポート

Red Hatはコンテナ環境のトータルソリューションとしてOpenShiftを提供

※1: 他のコンテナソリューションをお使いになる場合、コンテナベースイメージのサポートを見落としてしまうことが多い傾向にあります。

まとめ

重要なのは...

コンテナ化する Linux アプリケーション

『どのKubernetes のディストリビューションにするのか』だけではない

どのKubernetes
にするのか？

その
ホストOSは？

ベースイメージの
準備は？

ベースイメージの
サポートは？

必要な各種ソフト
ウェアは？



「プラットフォームを意識せず、お客様はより本業へ集中できる」

Enterprise向けコンテナ環境を提供しています。

Thank you

 linkedin.com/company/red-hat

 youtube.com/user/RedHatVideos

 facebook.com/redhatinc

 twitter.com/RedHat